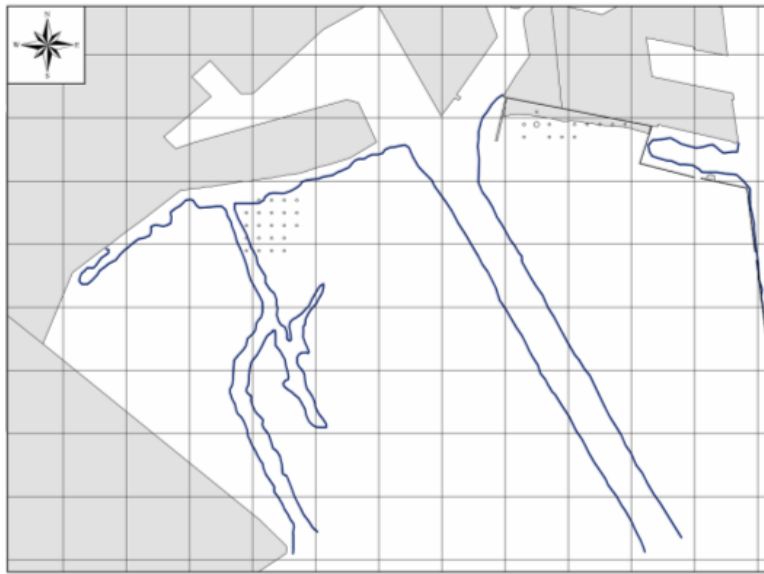
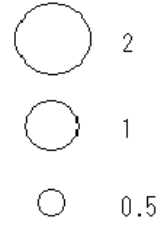


メダイチドリ																															
一般生態	春と秋に干潟で数十羽の群れで確認される。シロチドリより泥っぼいところで採餌し、ゴカイ類をよく捕らえる。																														
確認時期	<p>本年度は、春～夏季に確認され、確認個体数は平成 8～9 年度、平成 14 年度に比べて少なかった。</p> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>メダイチドリ 観察個体数/時</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>平成19年度</th> <th>平成14年度</th> <th>平成9年度</th> <th>平成8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>6</td> <td>47</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6</td> <td>72</td> <td>31</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>8</td> <td>22</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	月	平成19年度	平成14年度	平成9年度	平成8年度	5	6	47	16	16	8	6	72	31	34	9	8	22	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
月	平成19年度	平成14年度	平成9年度	平成8年度																											
5	6	47	16	16																											
8	6	72	31	34																											
9	8	22	0	0																											
1	0	0	0	0																											
2	0	0	0	0																											
分布状況 確認個体数の比較	<p>夏季の採餌場所を図 3-10 に示す。 採餌場所は、ふなばし三番瀬海浜公園、養貝場であり、平成 8～9 年度同様であった。</p> <p>夏季の休息場所を図 3-11 に示す。 休息はふなばし三番瀬海浜公園周辺、猫実川河口周辺でみられた。猫実川河口での休息は平成 8～9 年度にはみられていないが、本年度は、猫実川河口付近に形成された干出域で休息がみられた。</p> <p>休息個体は確認個体数が少ないため、明確ではないが、地形の変化によって休息場所が拡大していた可能性が考えられる。</p>																														



平成19年度夏季

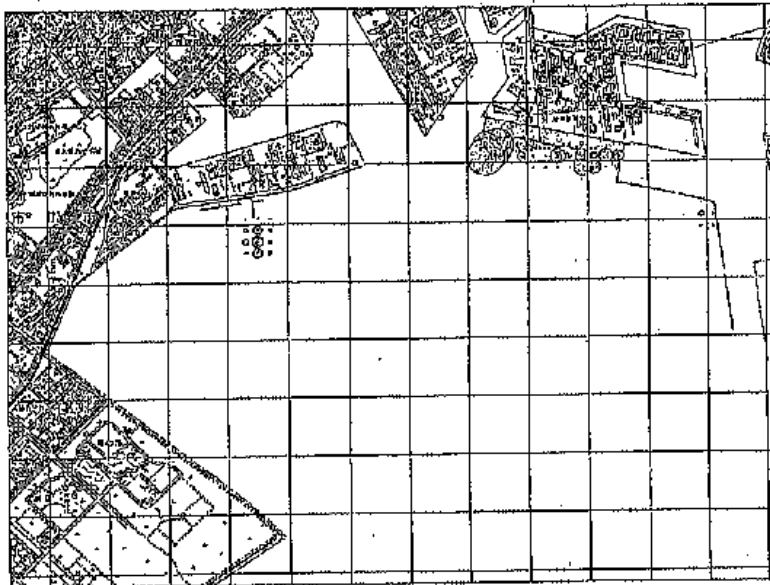
密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x = 10^{d-1}$
上記以外の場合 $x = d$

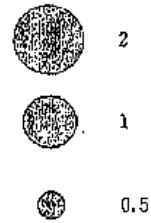
x: 密度(個体数/100m²)
d: 直径(cm)

$d \leq 0.1$ の場合
d=0.1で表示



平成8~9年度夏季

密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x = 10^{d-1}$
上記以外の場合 $x = d$

x: 密度 [個体数/100m²・対象期間]
d: 直径 [cm]

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

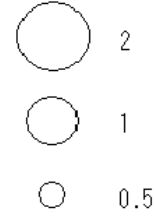


図3-10 夏季におけるメダイチドリの密度分布(採餌場所)



平成19年度夏季

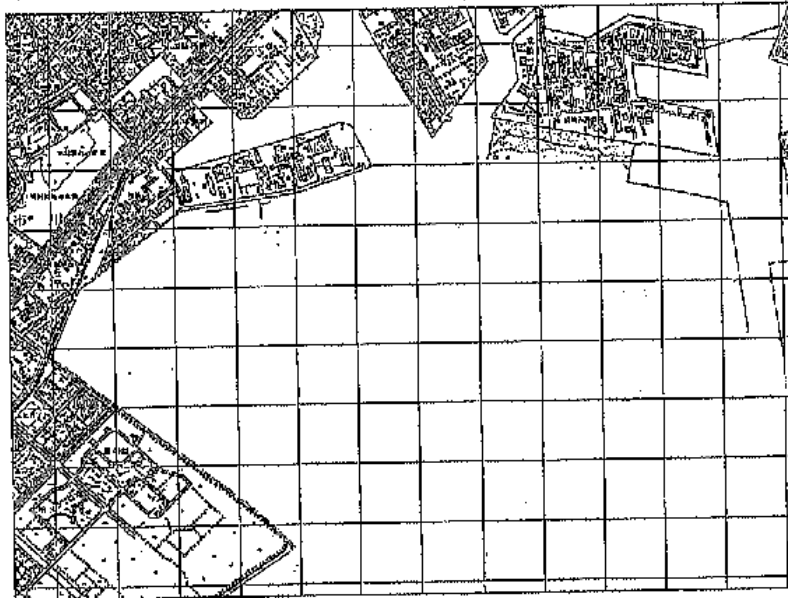
密度は次式より求めた円の
大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x=10^{d-1}$
上記以外の場合 $x=d$

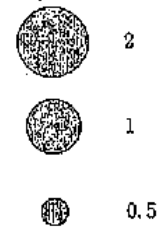
x: 密度(個体数/100m²)
d: 直径(cm)

d ≤ 0.1の場合
d=0.1で表示



平成8～9年度夏季

密度は次式より求めた円の大き
さ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x \propto 10^{d-1}$
上記以外の場合 $x = d$

x: 密度 [個体数/100m²・対象期間]
d: 直径 [cm]

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

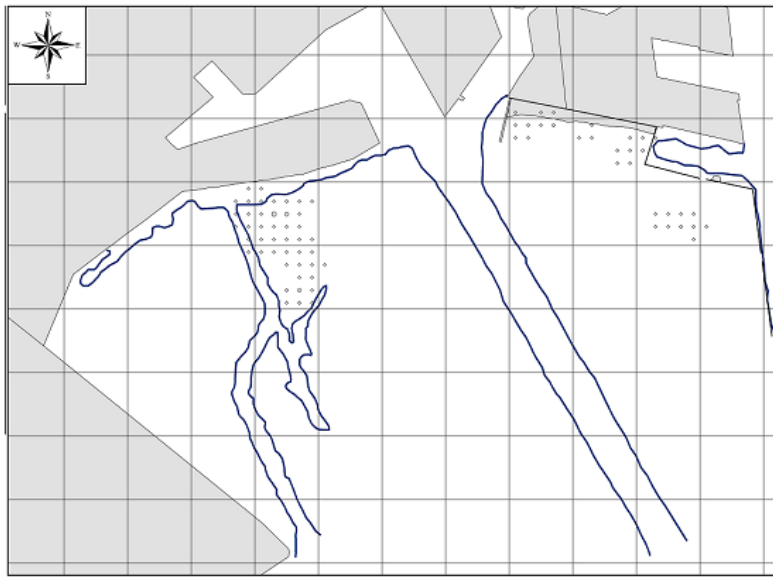
図 3-11 夏季におけるメダイチドリの密度分布(休息場所)

ダイゼン

平成 19 年 8 月 28 日
ふなばし三番瀬海浜公園

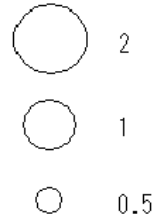


<p>一般生態</p>	<p>旅鳥として春は 3～5 月、秋は 8～10 月に渡来する。干潟、河口の三角州、砂浜などの砂泥地に生息し、昆虫、甲殻類、貝類、ゴカイ、植物の種子などを採餌する。</p>																														
<p>確認時期</p>	<p>平成 8～9 年度と同様、5 月、9 月の確認個体数が多かった。</p> <table border="1"> <caption>ダイゼン 観察個体数/時</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>平成19年度</th> <th>平成14年度</th> <th>平成9年度</th> <th>平成8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>52</td> <td>84</td> <td>72</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>27</td> <td>31</td> <td>23</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>38</td> <td>-</td> <td>14</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>31</td> <td>7</td> <td>25</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	月	平成19年度	平成14年度	平成9年度	平成8年度	5	52	84	72	-	8	27	31	23	2	9	70	-	-	111	1	38	-	14	-	2	31	7	25	8
月	平成19年度	平成14年度	平成9年度	平成8年度																											
5	52	84	72	-																											
8	27	31	23	2																											
9	70	-	-	111																											
1	38	-	14	-																											
2	31	7	25	8																											
<p>分布状況</p>	<p>夏季の採餌場所を図 3-12 に示す。 採餌は、潮位が低下する時間帯が最も多くなり、潮位が上がり始めると減少した。採餌場所はふなばし三番瀬海浜公園及び周辺の干潟、養貝場周辺が主体で、平成 8～9 年度と大きな変化はなかった。</p> <p>夏季の休息場所を図 3-13 に示す。 休息は、潮位が高くなる時間帯に多くなり、船橋防泥柵周辺や養貝場で多くみられた。なお、平成 8～9 年度と比較すると、平成 8～9 年度にはふなばし三番瀬海浜公園の沖や日の出の前面でも休息がみられたが、今年度はこの海域での休息はみられなかった。</p>																														



平成19年度夏季

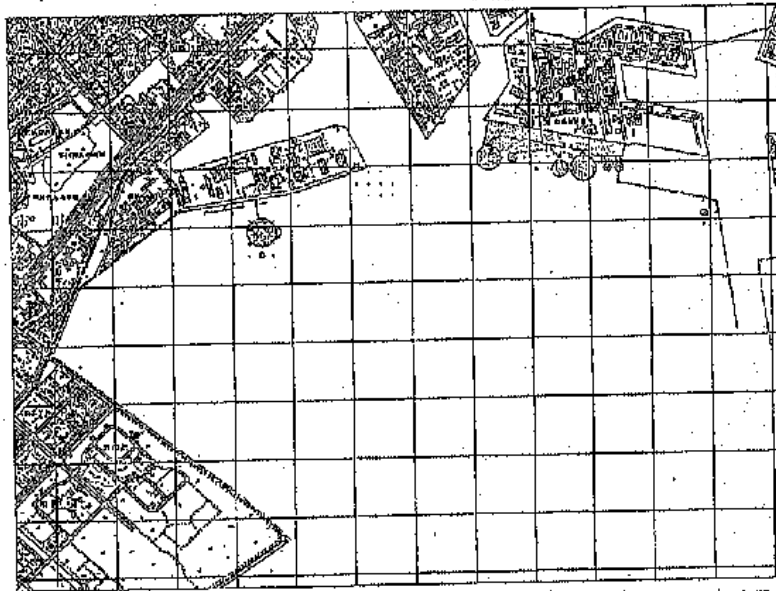
密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x = 10^{d-1}$
上記以外の場合 $x = d$

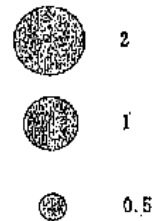
x : 密度(個体数/100m²)
 d : 直径(cm)

$d \leq 0.1$ の場合
 $d = 0.1$ で表示



平成8~9年度夏季

密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



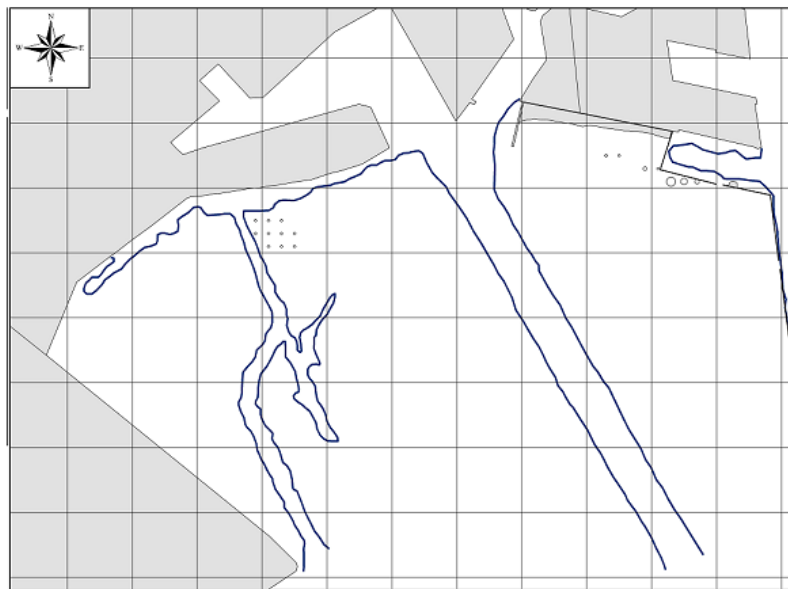
基準値1以上の場合 $x = 10^{d-2}$
上記以外の場合 $x = d$

x : 密度 [個体数/100m²・対象区間]
 d : 直径 (cm)

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

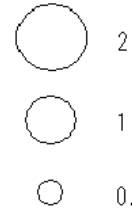


図 3-12 夏季におけるダイゼンの密度分布 (採餌場所)



平成19年度夏季

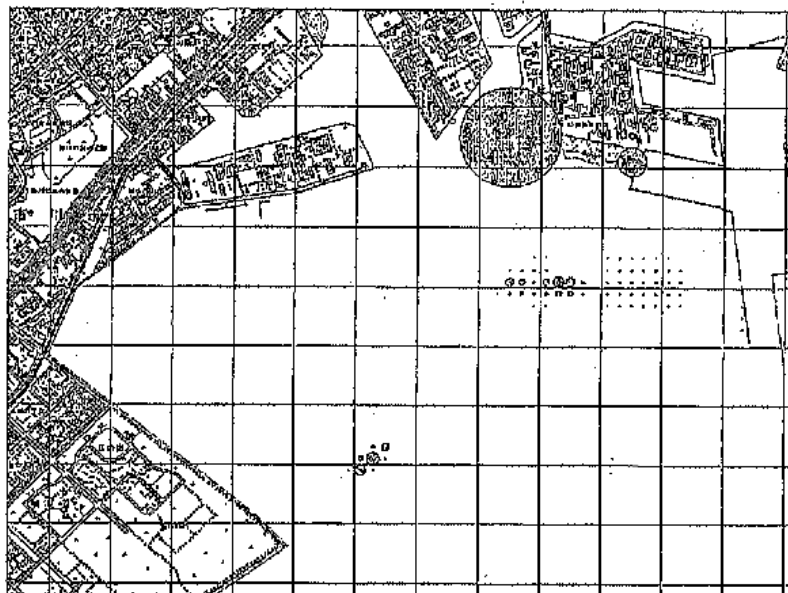
密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x=10^{d-1}$
上記以外の場合 $x=d$

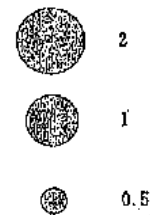
x : 密度(個体数/100m²)
 d : 直径(cm)

$d \leq 0.1$ の場合
 $d=0.1$ で表示



平成8～9年度夏季

密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x = 10^{d-1}$
上記以外の場合 $x = d$

x : 密度 [個体数/100m²・対象期間]
 d : 直径 [cm]

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

図 3-13 夏季におけるダイゼンの密度分布(休息場所)

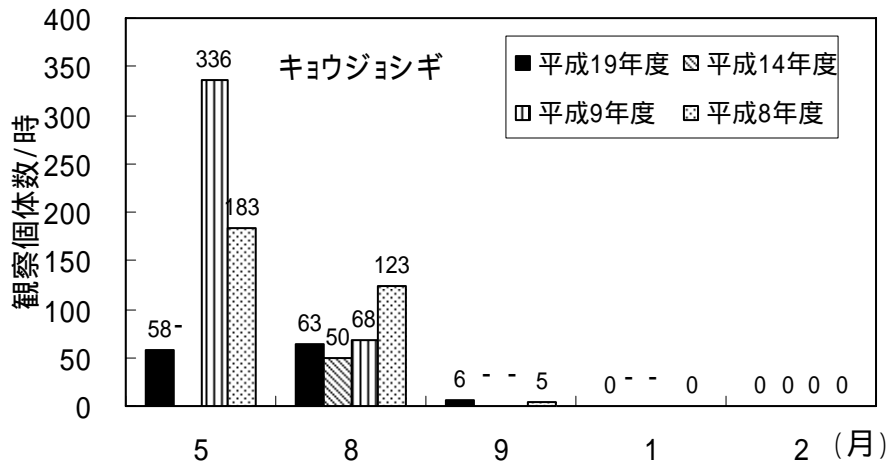
キョウジョシギ



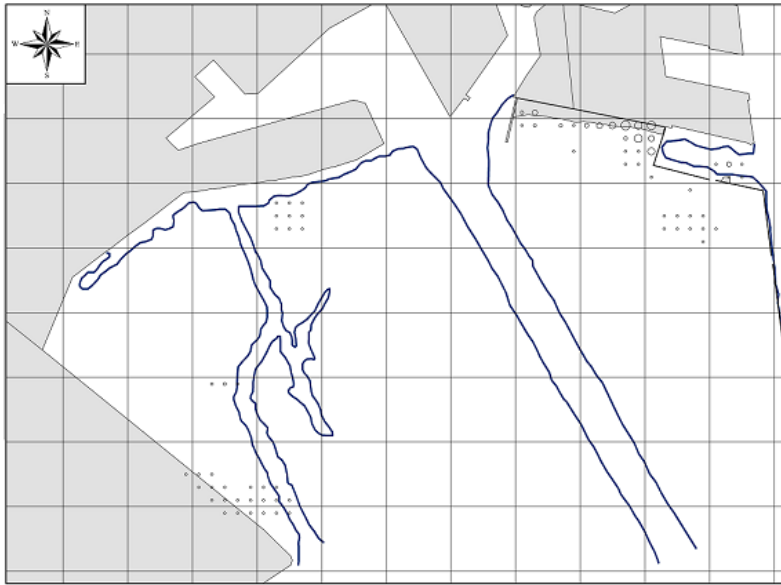
平成 19 年 8 月 28 日
ふなばし三番瀬海浜公園

一般生態 旅鳥として日本各地に渡来し、砂浜や河口の砂泥地のほか岩石地や砂利地の海岸などで甲殻類、貝類、ハマトビムシなどを採餌する。

確認時期 平成 8～9 年度と同様、主に 5 月及び 8 月に確認された。



分布状況 夏季の採餌場所を図 3-14 に示す。
採餌は、潮位の高い時間帯から潮位が低下する時間帯までみられ、潮位との明瞭な関係はみられなかった。潮位の高い時間帯にはふなばし三番瀬海浜公園の汀際付近や日の出の護岸上で採餌する個体が多くみられた。主な採餌場所はふなばし三番瀬海浜公園周辺、養貝場及び日の出の前面であり、日の出の護岸上では、カキ殻の付着した護岸でカニ類を採餌するものが確認された。
平成 8～9 年度は日の出前面での採餌がほとんどなく、採餌場所が拡大する傾向を示していた。
夏季の休息場所を図 3-15 に示す。
キョウジョシギの休息は、夕方の 17 時から増加した。休息場所は船橋防泥柵周辺、日の出前面の護岸付近であった。平成 8～9 年度は防泥柵の沖側での休息が多かったが、本年度はこの場所での休息は確認されなかった。



平成19年度夏季

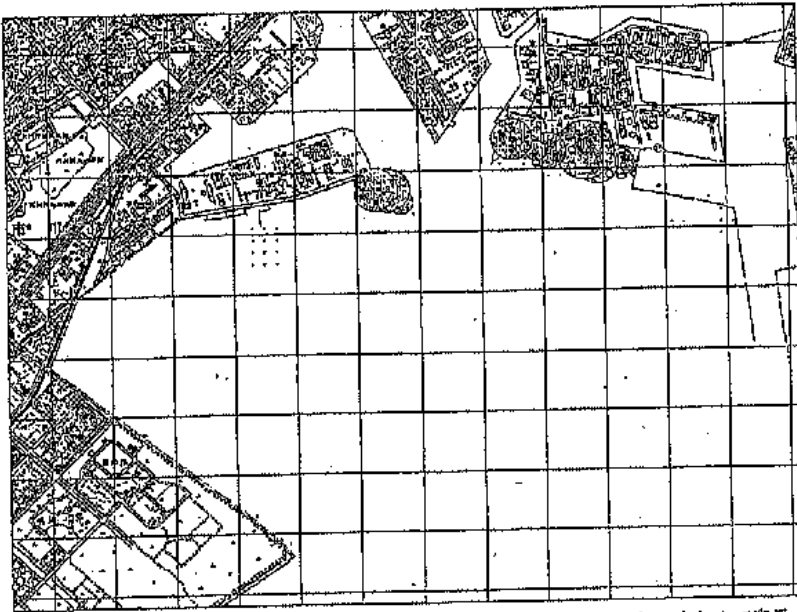
密度は次式より求めた円の大きさに(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x=10^{d-1}$
上記以外の場合 $x=d$

x:密度(個体数/100m²)
d:直径(cm)

$d \leq 0.1$ の場合
 $d=0.1$ で表示



平成8～9年度夏季

密度は次式より求めた円の大きさに(直径)で表現した。

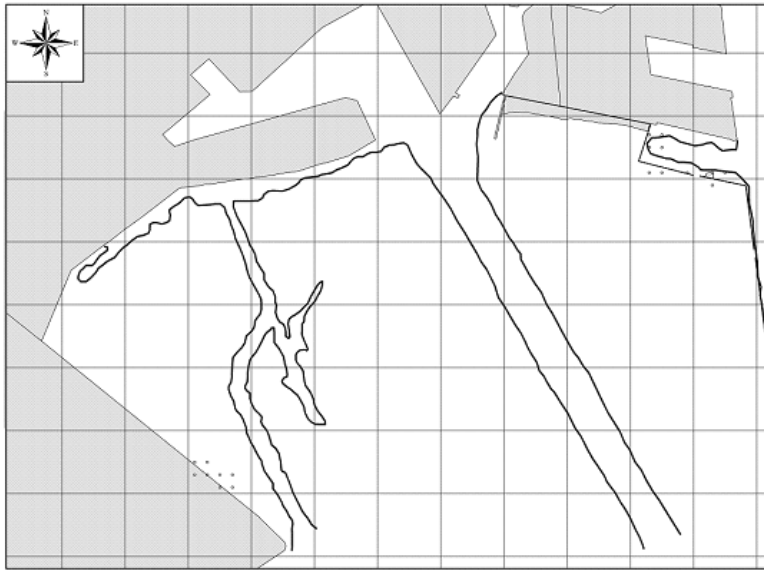


基準値1以上の場合 $x = 10^{d-1}$
上記以外の場合 $x = d$

x:密度 [個体数/100m²・対象期間]
d:直径 (cm)

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

図3-14 夏季におけるキョウジョシギの密度分布(採餌場所)



平成19年度夏季

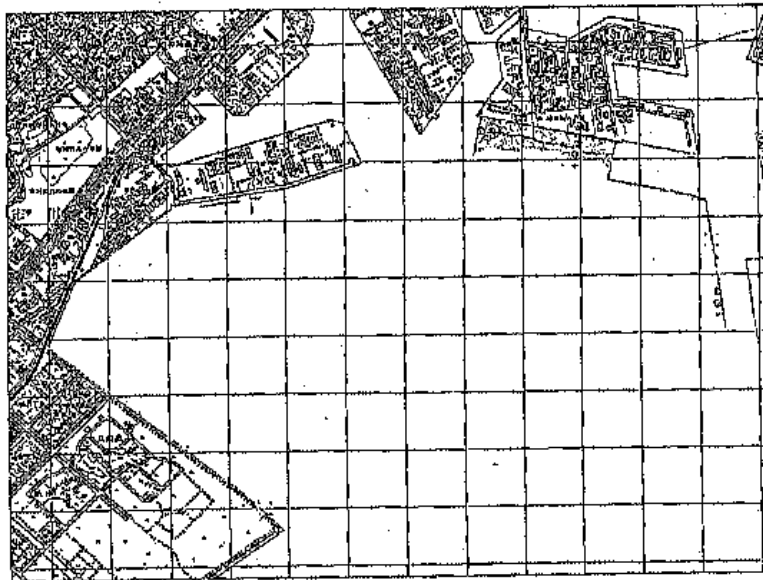
密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x=10^{d-1}$
上記以外の場合 $x=d$

x : 密度(個体数/100m²)
 d : 直径(cm)

$d \leq 0.1$ の場合
 $d=0.1$ で表示



平成8~9年度夏季

密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x = 10^{d-1}$
上記以外の場合 $x = d$

x : 密度 [個体数/100m²・対象期間]
 d : 直径 [cm]

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

図 3-15 夏季におけるキョウジョシギの密度分布(休息場所)